

性感染症の発生状況(6月分)

(県内16観測医の報告分)

疾病名	報告数	発生状況
性器クラミジア感染症	61 (58)	
性器ヘルペスウイルス感染症	15 (19)	新型コロナウイルス感染症発生に伴うBCPにより、当月分の委員による分析は行っておりません。
尖圭コンジローマ	8 (10)	
淋菌感染症	15 (17)	

()内数値は前月報告数

報告数は県内16箇所の指定届出医療機関からの届出数であり、県内の発生総数ではありませんのでご注意ください。

性感染症について

性器クラミジア感染症	潜伏期間は1～3週間。女性では、おりものが増える程度。しかし放置すると不妊症の原因となる。男性では排尿痛や分泌物の増加がみられることもあるが、淋病に比べて症状は軽い。
性器ヘルペスウイルス感染症	潜伏期間は2～10日。性器に痛みを伴う水疱や浅い潰瘍ができる。再発することが多い。
尖圭コンジローマ	潜伏期間は数週間～数か月。性器や肛門などにいぼ状の腫瘍ができる。
淋菌感染症	潜伏期間は3～10日。男性では、激しい排尿痛があり膿が出る。女性では、男性に比べて症状があまりないことが多い。

STD(性感染症)に感染していると、性器に炎症や損傷がおこりHIV(エイズウイルス)感染が起りやすくなると考えられます。県内各保健所で匿名、無料にて検査を受けることができます。詳しくは最寄りの保健所にお問い合わせください。

熊本県のホームページ「エイズってなあに」を是非ご覧ください。

(「熊本県のホームページ」「健康・福祉」「感染症・疾病対策」「エイズ」「エイズってなあに」)

健康危機管理課

性感染症の発生状況(6月)

(県内16観測医の報告分)

保健所別発生状況

疾病区分		合計	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草
性器クラミジア 感染症	男	39	34					1			3	1	
	女	22	13		5		1				3		
	計	61	47		5		1	1			6	1	
性器ヘルペス ウイルス感染症	男	10	8									2	
	女	5			3		1	1					
	計	15	8		3		1	1				2	
尖圭コンジ ローマ	男	7	5					1				1	
	女	1	1										
	計	8	6					1				1	
淋菌感染症	男	12	9					1				2	
	女	3	2		1								
	計	15	11		1			1				2	
計	男	68	56					3			3	6	
	女	31	16		9		2	1			3		
	計	99	72		9		2	4			6	6	

*は、定点がない地区

年齢別発生状況

疾病区分		合計	0~ 14	15~ 19	20~ 24	25~ 29	30~ 34	35~ 39	40~ 44	45~ 49	50~ 54	55~ 59	60歳 ~
性器クラミジア 感染症	男	39		3	9	12	4	5	1	2	2		1
	女	22		1	11	6	1	1	2				
	計	61		4	20	18	5	6	3	2	2		1
性器ヘルペス ウイルス感染症	男	10				2				2	2	3	1
	女	5				2	2					1	
	計	15				4	2			2	2	4	1
尖圭コンジ ローマ	男	7			1		2			1		1	2
	女	1				1							
	計	8			1	1	2			1		1	2
淋菌感染症	男	12		2	4		1	2		2	1		
	女	3			2				1				
	計	15		2	6		1	2	1	2	1		
計	男	68		5	14	14	7	7	1	7	5	4	4
	女	31		1	13	9	3	1	3			1	
	計	99		6	27	23	10	8	4	7	5	5	4